

大阪府高槻市及び周辺地域の3次元重力基盤構造
有馬・高槻構造線との関係について

3-D Gravity Basement Structure around Arima-Takatsuki Tectonic Line

- 中村佳重郎・西村敬一・駒澤正夫・赤松純平
○ Kajuro Nakamura, Keiichi Nishimura,
Masao Komazawa, Junpei Akamatsu

Arima-Takatsuki Tectonic Line (ATTL) locates between Arima in the northern part of Kobe city and Takatsuki city in the direction of SWW-NEE with length of about 60 km in Kinki district, west Japan. Precise gravity survey is carried out around Takatsuki city in 2005 additionally. We can distinguish more sharpened gradient of Bouguer gravity anomaly along the ATTL on the newly revised map than that on old one. And we can see easily that the ATTL branches partly to the north near the east boundary of Takatsuki city and its remaining part turns to the north at southeast point of the Otokoyama Mountain which locates in the east side area of the Yodogawa River .

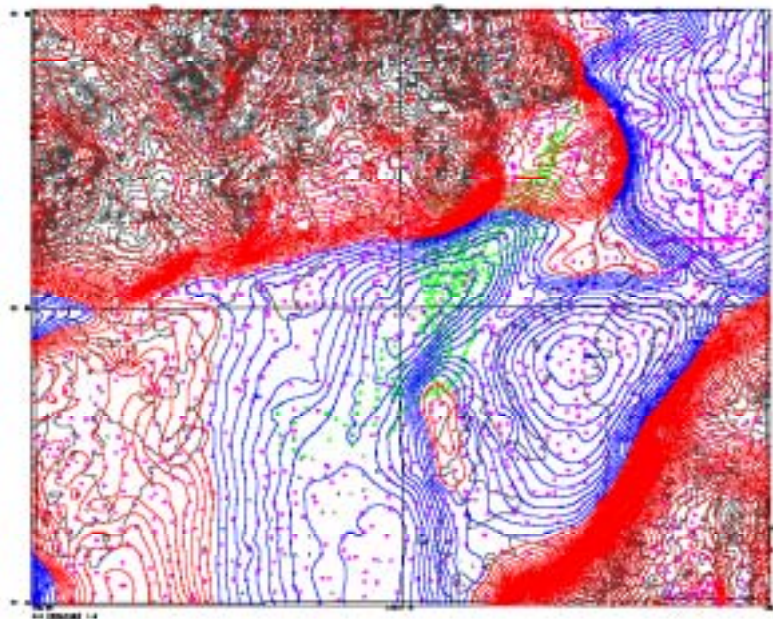
1 . 概略

近畿圏における大大特(大都市大震災軽減化特別プロジェクト)の一環として、有馬・高槻構造線周辺で精密(稠密)重力探査を実施した。

測定点の位置を決定するに当り、先ず高槻市内にある京都大学附属安満農場にGPS基準点を設置した。それを取り囲む国土地理院の電子基準点(5点)から安満基準点の座標を決定し、それを基準として各重力測定点の位置をGPS相対測位で決定した。

2 . 結果

有馬高槻構造線付近のブーゲー異常の変化の様子がより鮮明になった。重力異常がプラスのブロックは男山を取り囲んでいるが、淀川はこのブロックの外側を流れずに、男山の北側からこのブロックに流入し、男山の西側を流れて南に向かって流出している。淀川のやや西側で異常の谷間が見られ、基盤が落ち込んでいることを示唆している。このことは反射法探査で求められた結果と矛盾しない。基盤の3次元表示が期待される。



有馬・高槻構造線付近のブーゲー異常図(赤：+，青：-，黒：地形)

